

看護職員の負担軽減計画(令和3年度)

現状・問題点	対応方針	具体的な計画	達成状況		
			令和3年4月	令和3年8月	令和4年3月
時間外がある 令和元年度 4361h (看護部合計27名) 令和2年度 2935h (看護部合計32名)	時間外が発生しないような 業務量の調整 適正人員の配置	・業務内容の見直しと残務内容、残務時間の客観的評価を定期的を実施 ・看護支援システムの一部導入・人員の継続的確保 ・外来・病棟クラークの業務分担の見直しと推進 ・業務の状況に応じ他部署からの応援看護師の継続	<input checked="" type="checkbox"/> 計画策定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
療養病棟において、入院患者のベット32台中手動ベットが20台であり、入院患者90%以上が全介助を要するため、ケア時の負担が大きい	手動ベットを順次電動ベットに入れ替える	・院内の電動ベットの使用状況を把握 ・計画的に入れ替えできるよう、予算要望計画を立案し要望する	<input checked="" type="checkbox"/> 計画策定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>